

日野市監査委員告示第 4 号

地方自治法第199条第14項の規定により、令和3年度定期
監査（工事）の結果に基づき措置を講じた旨通知があったので、
別紙のとおり公表する。

令和3年11月10日

日野市監査委員 福島 基

日野市監査委員 古賀 壮志

監査結果に基づく指摘事項
(令和3年度工事監査)

指摘事項（意見・要望）	改善案、講じた措置事項
<p>【シックハウス対策等について】 アリーナを除く全居室を対象に、有害化学物質の調査を行い、規定値以下の含有率であることを確認するとともに、什器、備品等については、納品書に☆☆☆☆マーク（国土交通省告示や JIS 等により、ホルムアルデヒドの発散速度が極めて低い材料であることを示すマーク）が記載されていることを確認されたい。</p> <p>【地球環境に配慮した技術の採用】 省エネ対策としてクールヒートチューブの技術（地中にダクトを埋設し、外気を通すことで地中と熱交換する工法）により地中内部の定常温度を空調に利用し、省エネに役立てようという技術が採用されているが、その効果については、換気空気調和設備稼働時に、数値的分析を行い、効果の確認をしておく必要がある。また、クールチューブ内のカビ／細菌の発生を防ぐなどメンテナンスを確実に行う必要がある。 多摩産の木材を仕上げ材等に利用しており、地場産材を積極的に利用していくことは、現在の日本において植林された森林の多くが 50 年以上経過し、光合成の能力も低下してきていると評されていることから、森林の再生効果も含め大きな意義があると判断することができる。</p> <p>【アリーナの 2 重床施工に関して】 アリーナの 2 重床（鋼製床組）の施工に関しては、床鳴り（きしみ音）について特に注意をしていただきたい。専門業者の経験で床鳴り（きしみ音）が発生しないように調整されるが、工事監理者、アリーナ利用者等の立会確認も行うようにされたい。</p>	<p>【シックハウス対策等について】 建築設計図書特記事項(A-008)に記載の通り、全居室（17 室）を対象に調査を実施致します。また、使用する材料の含有率につきましては、納品書にて☆☆☆☆マークの記載を確認することで管理を行います。</p> <p>【地球環境に配慮した技術の採用】 クールヒートチューブにおける、数値的な分析及び効果の確認については、クールヒートチューブ導入検討時に示された、外気温度と地中温度を、建設時に計測器にて実測、比較し、稼働時の効果の確認を行います。更に、温度については、経過計測可能な状態としておきます。 ダクト内結露については、対策として、ダクトに勾配を設けて結露の滞留を防ぎ、また、ダクト曲がり部に、点検可能な、浸透枘を設けて、滞留水が生じ難い計画としています。 多摩産の木材利用については、今後も造作材・構造材等に積極的に活用し、森林再生に付与してまいります。</p> <p>【アリーナの 2 重床施工に関して】 本工事では、床鳴り対策及びささくれ対策として加圧樹脂含浸による寸法安定化高強度処理を施したフローリング材を採用しています。また隠しビス留め工法により、フローリング材と捨張合板、根太、置床との一体化を図ります。捨張合板の張り方向を、大引きと直交させることで、床の歪発生を防止します。また、工事監理においては、工程毎にアリーナ利用者等も含めた立会を行い、計画通り施工されていることを確認します。</p>

【設計業務委託における成果図書の提出について】

設計業務が終了し、最終成果図書を納品する際の設計図書は、A1, A3 サイズの製本提出が指示されていたが、最終成果図書としては、CAD データ、PDF データの提出も求められていることから、利用の可能性の少ない A1 サイズの製本提出の必要性について検討してもよい時期になってきているものとする。もし提出を必要とするのであれば、現地の事務所に、施設管理のために保存するといった方法も有効と考える。

【むすび】

監査時点における書類審査及び現場調査の結果は概ね良好である。工事に関しても適正に管理運営がなされており、施工は予定どおり進捗している。

今後も工期を残していることから、引き続き安全管理に十分配慮され、市民サービスに影響のないよう品質の良い施工を計画どおりに行い、市民が安心して安全にスポーツを楽しむことのできる（仮称）南平体育館を完成させることを要望する。

【設計業務委託における成果図書の提出について】

設計業務が終了し、最終成果図書を納品する際の設計図書は今後の現場監理での用途を想定し A3 サイズ製本を前提とします。

また施設保全のために現地の事務所に原図サイズの竣工図 1 部を保存とします。

【むすび】

品質・安全確保に努め、工期内の完了を目指します。